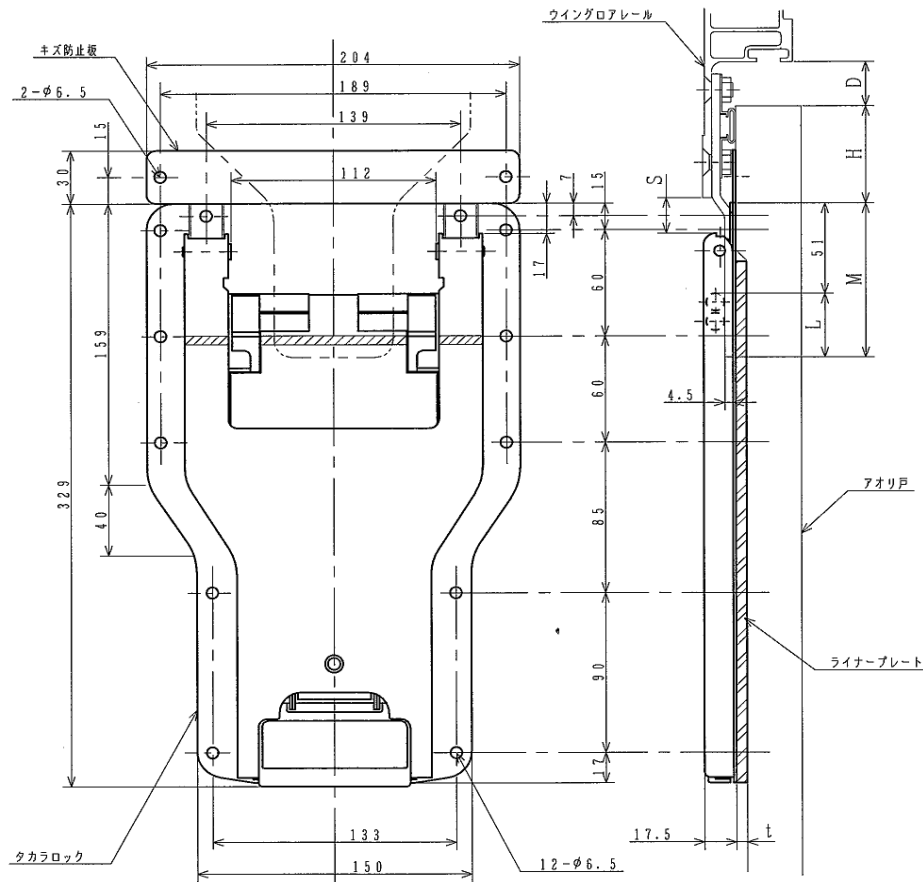
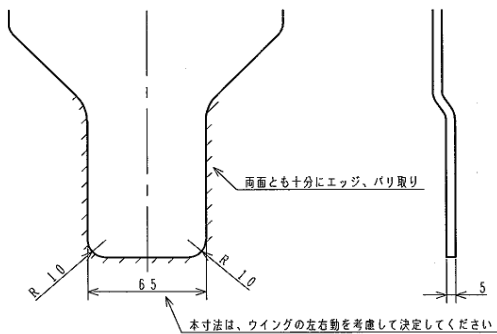


# タカラロック 装着要領書

## 取付け手順



ロックプレート形状 (参考図)



### 1. 取付け前の確認

- 1) アオリ戸のアルミフロックの段差 <1寸法>
  - 2mmの場合、ライナーフロック型番 (RBS-BL18) を使用します。
  - 3mmの場合、ライナーフロック型番 (RBS-BL32) を使用します。
  - 6mmの場合、ライナーフロック型番 (RBS-BL60) を使用します。
- 2) ロックプレートの寸法
  - アオリとロックプレートのすき間は1.5mmとして下さい。
  - ロックプレートの板厚は5.0mm以下として下さい。
  - ウイングの上下動、左右動を考慮して形状を決定して下さい。
  - プレートの角部はRとして下さい。
- 3) アオリの精度
  - アルミブロックの膨らみ及び積み重ねられたブロックの傾斜にご注意願います。
  - 直尺等で精度を確認して下さい。
  - タカラロックのベースプレート下部が2mm以上曲げられるような誤差があった場合は、アルミブロックとライナープレートの間にシム等を入れて調整して下さい。
- 4) タカラロック周辺の干渉物
  - アオリ戸を倒した場合、サイトカート等とタカラロックが干渉しないか事前に確認して下さい。

### 2. 取付け手順

#### 1) タカラロック取付け位置の芯出し

- ・取付中心 : ロックプレートの中心とタカラロックの中心が一致すること  
特にロックプレートはウイング左右動の中心として下さい。
  - ・ $S \geq D$  : ウイングロアレール下面とタカラロックアーム先端との距離条件
  - ・ $33 \leq L \leq 36$  : ロックプレートのラップ代
  - ・ $M = L + 51$  : ベースプレート上面からロックプレート先端までの寸法範囲
- 上記条件に注意して、タカラロックの取り付け穴をアオリ戸にケガいて下さい。
- D : アオリ戸上面とウイングロアレールとのスキマ
  - H : アオリ戸上面からベースプレート上面までの寸法
  - M : ベースプレート上面からロックプレート先端までの寸法
  - L : スライダー上面からロックプレート先端までの寸法 (ラップ代)
  - S : ロックプレート先端とタカラロックアームとのスキマ

#### 2) タカラロックの取付け

タカラロックの取付け方法についてはモノホルト、リベット等で固定して下さい。  
また、アオリ戸に強度がない場合には裏板等で補強して下さい。  
取付けホルト及び裏板は、客先にてご用意願います。  
アオリに段差がある場合は適合するライナーフロックをタカラロックとアオリ戸の間に挟んで取付けを行って下さい。

- 3) 状況に応じてタカラロック上部にキズ防止板を取り付けて下さい。  
キズ防止板型番 RBS-01-007

### 3. 取付け後の確認

組立終了後下記の項目を確認して下さい。

- 1) タカラロックが垂直に取りついている。
- 2) レハの開閉操作がスムーズに行える。
- 3) アオリを倒したときに、干渉物がない。
- 4) タカラロックのレハを操作してロックプレートを解除後、ウイングの操作がスムーズに行える。



タカラ産業株式会社

〒416 静岡県富士市五貴島1318 TEL 0545-61-5500  
FAX 0545-61-7359

TAKARA SANGYO CO., LTD.